

てん末書

記録者職氏名

企画財政課

調整係

主任

竹 中

寿

1 日 時

平成28年6月15日(水) 13時30分 ~ 15時40分

2 会 場

上湧別コミュニティセンター 2階大会議室

3 会議及び用務

第2回 行政改革推進委員会

4 出席者

各委員：北村会長、佐藤・野田・高橋・小林・森・菊地・宮澤各委員

(高桑職務代理者、松浦委員欠席)

町 長：石田町長(町長挨拶終了後退出)、山田総務課長、松田住民税務課長

阿部企画財政課長、星課長補佐、竹中主任

(山本まちづくり推進課長欠席)

5 結果要旨

1. 開 会 (阿部課長進行)

2. 会長あいさつ

(北村会長) お忙しい中、お集まりいただき感謝します。事前に皆様にお示しのあった議案の中にもありましたが、私達のやることは、内部評価の妥当性と施策の成果指標や目標値の設定の正確性を検証するという様なことが書かれており、協議の中での的確に判断していただきたく、皆様宜しくご協力下さいますようお願い致します。

3. 諮 問 (別添の大綱の原案を石田町長から北村会長へ諮問)

4. 町長あいさつ

(石田町長) ただいま、会長に第2次となる行政改革大綱を諮問しました。行政改革を行うにあたって、まちづくりの施策と両輪で進めていかなくてはならない。行政改革を足元から見直すべく、役場行政機構の見直しを行い、現在まで大きなトラブルもなく進んでいる。職員にも行政改革を含め言っていることだが、予算を削ることが行政改革ではないと思っています。既存の取組を見直すことによって町民サービスが向上するのであれば、それも行政改革であると考えています。委員

の皆様には、お忙しい中ご苦勞をお掛けしますが宜しく申し上げます。

5. 協議事項

協議に入る前に、本日の会議時間を2時間程度とすることを各委員より了承を得た。

(1) 湧別町行政改革大綱について(竹中主任より説明)

- ・大綱について、当日配布であったため、中身の部分の本格的な協議については次回以降行うことで了承を得た。

【全般的な質疑等なし】

(2) 行政評価について(星補佐より説明)

(宮澤委員) どの様に評価を行うのかまずわからなかった。あらかじめ、10個の事業の評価を行うと事前にお知らせしてほしいかった。私達が評価を行っていくに当たって、拡充や改善、現状維持などの文言のニュアンスがよくわからないところがあったので、そこら辺の見解を教えてください。

(星補佐) 改善と拡充との違いとのことですが、それぞれの判定区分の方向性による表がありますのでお配りします。

※判定区分の表を各委員に配布。

(宮澤委員) 例えば、畜産環境保全施設整備事業では、今後、償還完了に伴い件数が減少し、事務量の軽減が見込まれると言っているのにも関わらず、縮小ではなく、現状維持だと言うところも意味がわかりません。

(星補佐) この事業については、補助している額が既に固まっている事業でして、これから徐々に対象者が減っていき、事務量も減りますが、事業的には現状維持の形となっており、この部分については、今まで通り、現状を維持して事務を処理していくという形になっています。

(宮澤委員) その部分については、事業が縮小していくとは言わないのですか。

(阿部課長) 事業期間が31年度までの事業で、新たな採択を受けず、今後増える見込みがありません。償還すれば事務量は減りますが、事業本来の部分で言えば、事業は31年度まで現状維持、継続して実施しているという判断となっています。

(宮澤委員) 事務事業の成果や活動指数は減ってきますが縮小にはならないのでしょうか。

(阿部課長) ここでの事業の目的ということで考えると、事業主である農家の皆さんが31年度まで利子補給を受けていくということですので、事務量は軽減はされますが、事業がある以上は当然継続されています。

(宮澤委員) 事務事業の評価が一番肝心なところで、改善の可能性がない場合には、評価判定であまり変更されることが無いということですか。

(阿部課長) 畜産環境保全施設整備事業で言えば、国の事業で事業そのものが変わる

ことは基本的にはありません。

(宮澤委員) この選んだ10事業については、色んなバリエーションがある中から選んだということですか。この膨大な数の事業の中の10事業は、委員さんが飛び付きやすいものとして選んだものなのか、選んだ根拠を教えてください。

(星補佐) 10事業の選定の中身ですが、総合計画の5つの分野に分けて、その中から、皆さんが興味のある事業を選定しています。

(佐藤委員) 104の事業の中からチョイスしてもらって、残りの事業については、順次、評価するということなのか。

(阿部課長) 前段、タイムラグがあるという説明をさせていただきましたが、27年度に実施した事業を28年度に評価を行いたいと、その部分については、試行ということで先程、表現をさせていただきましたが、そのために104件を事前に送付させていただいたということがありますが、その104件を一つひとつ評価していくと時間的にもかかりますので、事務局で無作為的に10事業を抽出させていただいて試行的に評価を行いたいということです。今後、28年度の実施している事業の評価については、本年の11月ころから同じような形で評価をしていただいて、その評価していただいたものを3次評価をして29年度の予算に反映していきたいということで、今年に限っては変則的な評価をしなくてはならないということでもあります。

(森委員) 結論から言うと今回は演習と言うことで宜しいですか。正式には、28年度の部分から我々の役目になるということで、それに向けて27年度の事業で慣れて下さいということですね。

(阿部課長) 申し訳ない話になりますが、平たく言えばそういうことです。

(佐藤委員) 11月から28年度の事業について評価を行い、来年度の予算に反映させたいということですが、事務事業が物凄くたくさんあって、我々は専門家といわけではなく、一つひとつの事業について、現場に行ったこともないしわからないので、中々、評価といっても難しいと思います。もう少しわかりやすい資料等があると良いと思います。

(阿部課長) 28年度の評価の手法については、総合計画に搭載している事業が基本になっていきます。恐らく27年度と同様の件数が出てくるとと思いますが、一度全てお示しをして委員の中から評価をする事業を選んでいただいて評価を実施していただきたいと思います。また、現場等見ないとわからない場合は出向いて確認を行ったりすることも可能です。その場合は、応分の時間がかかることから早めに事務を行い10月の委員会の際に皆さんから意見を伺いたいと思いますが、いかがでしょうか。

(各委員より「はい」という声多数)

4 (てん末書用紙)

(星補佐) 確認ですが、全ての事業を対象とするか、100くらいの抽出した分を対象とするかを決めていただきたいと思います。

(宮澤委員) 同じ事業を継続して評価を実施していくことも大事だと思います。

(北村会長) 今回のこの10事業の評価が終わった段階で、時間があれば、他の事業についても評価をしていくという話ではありました。もし興味のある事業があれば後の質疑応答の部分で受けることは可能です。

(協議の結果、100くらいの抽出した分から選定することとした。)

(10事業の評価を1事業ずつ行うこととした。)

①町道維持管理事業について

(森委員) 町道の道路延長は何キロメートルあるのか。また、2次評価の中で、「事業内容が広範囲であり、維持管理に係る費用対効果を常に・・・」とあり、何箇所にも渡っていると思いますが、その中で、費用対効果が気になる場所など具体的にあったと予想されるが、具体的な部分を知りたい。

(星補佐) 総体的な部分として出てきた話になっております。

(佐藤委員) 湧別の方は、木を植えたりしていますが、旧上湧別町では、あまりしていなく旧町界からアンバランスになっています。その辺のアンバランスを解消する手立てを何か考えていますか。

(星補佐) その点に関しては、既にあるものの管理ですので、その部分の議論はしていません。

(北村会長) 必要であれば、担当課より招集して意見を聴くこともできますので、遠慮なく言っていただければと思います。

(宮澤委員) この会議はそこまでしても良い会議なのですか。

(阿部課長) それぞれの事業の説明については、ものによっては詳しいことになると担当課員でなければわからないこともありますので、必要に応じて対応できると思います。

(小林委員) リラ街道の関係ですが、リラを植えており、除雪等でもかなり被害があり、維持していくためにはかなり経費がかかっていると思います。その辺の考えはどうなのでしょう。また、桜の木も植えていますが、すごく無駄なような気がしますし、リラが大きくなり見通しが悪いことなど考えるともう少しその辺を検討してはどうかと思います。

(阿部課長) リラの場合は、剪定等の仕方で見通しが悪くなってきます。経費についてもかかっていると思います。リラ街道については、シンボルロードとして維持してきた経過もあります。リラ街道の必要性や有効性など考えると課題も出てきていると思います。結論を言うわけではありませんが、現状ではそのようになっ

ております。

(小林委員) 関連ですが、除雪の関係で、リラ街道は津波の際の避難道路になっていますが、冬期間、吹き溜まり等により通行止めになることもあります。そのことも含めた中で整理をしていかないとならないと思います。そういう意味では拡充でもいいのかと思います。

(阿部課長) 安全対策や災害を含めた、リラ街道のあり方という意味での拡充ということですね。

(北村会長) このことについては、1次、2次とも「2」の現状維持という評価をしています。拡充なのか改善なのか、その辺だと思います。

⇒協議の結果、現状維持が概ね妥当として、文書において意見を加えることとした。

②民間賃貸住区等建設補助事業について

(宮澤委員) 補助金が入っているようですが、今後も補助金が入ってくるのですか。

(星補佐) 補助金は1年のみとなっています。元々は一般財源で実施する予定でありましたが、地方創生の関連補助金が措置されました。

(高橋委員) 来年度以降は、一般財源で行うということですか。

(阿部課長) 基本的には一般財源で、後は過疎債などを利用する方法があります。

(佐藤委員) 湧別町は賃貸住宅が足りていないのですか。

(北村会長) 湧別町は公営住宅の家賃が安いですが、昨年度は足りていませんでしたが、今年は足りているようです。

(星補佐) この補助事業は、公営住宅に入れられない方のために民間で賃貸住宅を立てて下さいという補助事業です。

(阿部課長) 今回、この制度が出来たのは、公営住宅が少ないという一方で、所得の関係で入れない方が多く、そのために結果的に町外に流れてしまうことが問題化されてきたことに伴い、湧別町内の業者が独自に取り組む施策に対して、町が支援していくということです。実際に湧別小学校の向えに工事が始まっている所もあります。

(森委員) 今の説明ですが、湧別小学校の向えに建設している建物は漁組の乗組員のアパートです。所得の関係で単身者住宅に入れられない。民間のアパートも無く、遠軽や紋別から通っている現状となっています。定住策もそうだが、通勤災害の軽減を図ることを目的としています。

(北村会長) 酪農家の中でも住宅を整備するという話を聞いています。

(菊地委員) アパートの建設計画がある。酪農家は中々募集しても人がこないのが条件を少しでも良くするために計画している。

6 (てん末書用紙)

(高橋委員) 色々な意見を聞いているが、最終的な評価は拡充ということになるのでしょうか。

(森委員) 1年遅れの評価だから「3」になっているということですね。27年度の実績の時には、寮が対象になっていなかったから、28年度に向けて更に拡充して寮も含めないとならないから改善だということですね。ただし、寮が増えるということであれば、拡充ではないかと思います。

(菊地委員) 日本語的に改善は良い方には理解されないと思います。良い方ということであれば拡充ではないかと思います。

(森委員) 現状の制度において、良くするための改善という意味ですね。表現の違いはあると思います。

⇒協議の結果、評価は「3」として、その理由として付け加えることとした。

残りは次回会議へ持ち越しとしました。

6. その他

- ・ 次回の会議の日程は、6月27日(月) 14時30分から場所は、コミセン2階大会議室で行うこととした。
- ・ 次回は行政評価の続きと大綱の審議に入ることとした。(実施計画書は配布する。)
- ・ 竹中主任より、委員のマイナンバーの報告について依頼した。

7. 閉 会

終了(15時40分)